

令和元年度 地域懇談会 報告書

地域名	柏市風早北部地域ふるさと協議会
日 時	令和元年9月4日（水）午後7時00分～8時10分
場 所	沼南近隣センター 集会室1
参加者	ふるさと協議会役員等 : 22名 地域づくり推進部長 : 1名 沼南近隣センター所長 : 1名 沼南地域包括支援センター職員 : 1名 柏市社会福祉協議会職員 : 1名 地域支援課職員 : 6名 地域づくりコーディネーター : 1名 合計 : 33名
次 第	別紙のとおり
意見 交換	ふるさと協議会役員 ・防災訓練を10月20日に予定している。32町会等のうち参加するのは18団体。沼南町が柏市と合併したこともあるが、ふるさと協議会の音頭では、全地域が参加することは難しいので、市から音頭をとってほしい。今は大災害がある時代なので、市全体で防災訓練をやることはできないか。 ・大島田の交差点は緊急道路になったとき、交差点は四分割ということになる。大災害が起きた時にトリアージュが問題。防災安全課に聞くと、「名戸谷病院に行って」と返事だが、本当に名戸谷病院でいいのかと思う。風早北部には大病院がない。 ・合併後にもゴミ出しの問題などで旧柏市と旧沼南町の区域ではあまりにも違いがある。合併した以上、差別がないようにしてほしい。
	柏市職員 ・我々が20地域の防災の取組みを拝見する中で、風早北部は最も数多く、熱心に防災活動に取り組んでいる地域と認識している。防災安全課とも連携して市としても地域の取組みを更にバックアップしていきたい。
	ふるさと協議会役員 ・担い手不足の解消、役員負担の軽減について、解決策のひとつとして、事務局に人を置き報酬を出す場合もあると。この報酬について市で見てもらうことはできないのか。

柏市職員

- ・今、市から各ふるさと協議会には90万円の運営費補助に30万円を足して合計120万円の補助金をお渡ししている。増額は難しい状況。ただ、他地域からも同様の話があり、また120万円の中で事務局員の報酬としてどの程度を充てることができるかの指針を示してほしい、という意見も頂いている。地域懇談会で頂いた宿題として検討させていただく。

ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会に加入していない町会等が2～3団体ある。それ以外にも調べるとURの賃貸の団地や、アパートは自治会もないため加入のお誘いもできない。おそらく柏市からの行政連絡物も届いていないと思うが、市としてはどう考えているのか。

柏市職員

- ・URの団地は例えばどのあたりのことか教えてほしい。

ふるさと協議会役員

- ・例えば大津ヶ丘第二団地、大津ヶ丘3-17の1～9号棟がある。大津ヶ丘四丁目の4-5の1～12までが賃貸なので、そこは管理組合がない。3-1の1号棟も同様。

ふるさと協議会役員

- ・付け加えると、塚崎の市営団地120世帯くらいも挙げられる。塚崎1丁目ではマンションのコスモ柏東が60世帯程未加入の状態。

柏市職員

- ・集合住宅の町会加入については市としても同じ問題意識を持っている。今年度は大型の共同住宅の自治会の加入状況の把握と加入促進に力を入れており、柏市はマンションや共同住宅が多いが、自治会として登録もされていないのが現状。また、マンション等があるエリアの町会等に加入するはずが入っていない等の状況も増えている。市内全域での把握に努めているところである。

ふるさと協議会役員

- ・このように懇談会を行っているが、地域支援課がふるさと協議会

に望むことや期待することは、どんなことか教えてほしい。

柏市職員

- ・私の考えを言えば、地域のつながりを作ってほしい。特に、町会を孤立させず、町会同士につながりが出来るようにという期待がある。どこの地域でもあるが、町会長が毎年変わる町会や役員の方が一年で交代してしまう地域などをはじめとして、町会運営そのものが難しくなっている。その時に相談できるのがふるさと協議会だと考えており、さらに言えば、地域に住む人が地域を愛する、帰属意識を感じられるようお取次ぎ頂ければという期待をしている。

ふるさと協議会役員

- ・柏市と合併して十数年が経つが、各町会長の方々にふるさと協議会が浸透していない。ふるさと協議会の位置付けもはっきりしていない。防災訓練にしろお祭りにしろ、皆さんに声をかけて集まってもらっているが、なかなか理解されていないというのが現実。

ふるさと協議会役員

- ・手賀の杜自治会でも同じで、会長は知っているが他の役員は知らないことが多い。知らない団体から呼びかけをしても、知らないわけだから、市からふるさと協議会の名前を広報してもらって、認知度が高まると良い。

柏市職員

- ・旧柏地域だとふるさと協議会が出来て40年が経つ。それでも認知度が半分程度だったりする。その意味では旧沼南地域には「ふるさと協議会はこの地域にはこういうものです」と市からもっとお知らせしていくことが必要だと思う。

ふるさと協議会役員

- ・合併以来、「ふるさと協議会とは何か」ということが明確にならずに来ている。旧公民館がいきなり近隣センターになったが、実際は名前が変わっただけである。ふるさと協議会をやれと言われたが、場所も狭く階段の上に仕切りを作っただけで、誰も常駐していない。全て後手後手でお粗末なことになっている。市はこの地域に何を期待し、どういうことをしてほしいのか、というような不満はた

くさんある。

- ・ふるさと協議会は後から取って付けた団体だから、ふるさと協議会が無くても何も困らない。私たちはむしろ地区社協と一緒にやっ
てきているから、それとは別にふるさと協議会があっても必要性を
感じる事ができない。お祭りのためにあるという意見もある。
- ・近隣センターと風早北部ふるさと協議会の位置付けをしっかりと
してもらい、部屋にしても常日頃から活動できる拠点を設けてほし
い。

柏市職員

- ・おっしゃる通り、もともと柏市は市内を20のコミュニティエリ
アに分けるといふこと、ふるさと協議会をつくるということ、近隣
センターをつくるということ、をセットで取り組んできた。今の事
務室では活動が十分に出来ないというご意見かと思う。

ふるさと協議会役員

- ・事務室もそうだが、ふるさと協議会に対する地域支援課からの支
援がもっと必要だと思う。

ふるさと協議会役員

- ・沼南支所の総務課でふるさと協議会を担当してやってくれた時に
はかなりサポートしてくれて助かった。それが、近隣センターが出
来たら途端に今の形になってしまったので、ますますふるさと協議
会の必要性を疑問に感じてしまう。

ふるさと協議会役員

- ・報酬を考えるのではなく、地域支援課から週に2～3日、事務作業
をしてくれる人が来てもらえばよいと思う。

柏市職員

- ・それはまた違った話になってしまうと思う。(笑)

ふるさと協議会役員

- ・地域支援課から職員に来てもらうことはないと思うが、常勤の事
務の人の給料を市が保証してくれればいいと思う。(笑)

ふるさと協議会役員

- ・事務局をやってくれるという候補の女性の方も3名見つかったが、無償だと言った途端辞めてしまった。

ふるさと協議会役員

- ・近隣センターの位置付けを私たちに分かり易く説明してほしい。

柏市職員

- ・昭和50年代、柏市の人口が急増する時代は、千葉都民などともいわれたが、仕事から帰り寝るだけというような状況もあった。当時の鈴木市長が、柏市を「ふるさとと感じてほしい」という想いで、ふるさと運動というものを提唱した。
- ・柏市内を17のブロックに分け、ふるさと協議会というものを立ち上げ、活動拠点として近隣センターをつくり、広域でのまちづくりを住民と行政が協力してやっっていこう、ということで始まった。柏市を愛してもらおうという活動で、当時の主な活動は、地域のお祭りや文化祭、運動会などが主なものであった。

ふるさと協議会役員

- ・近隣センターとふるさと協議会の関係で、近隣センターを活動拠点にということだが、活動するには人と場所が必要だと思う。

柏市職員

- ・部屋はある近隣センターとない近隣センターがある。ただ、基本的にはあると考えるが良い。また、前の沼南支所のようなサポートはセンターの所長がやっているところが多い。

ふるさと協議会役員

- ・では今後は所長にお願いすればいいのか（笑）

柏市職員

- ・この建物は今でも旧沼南町の中央公民館としての機能、利用、文化連盟が生きている。また、近隣センターという名称になって、ふるさと協議会の拠点という意味合いがある。したがって、その両方をうまく回すには、それなりの組織体系などが必要であると赴任から5か月経って認識している。

ふるさと協議会役員

- ・地域には活動するための部屋がきちんとあって、人も必要だということだと思う。

ふるさと協議会役員

- ・近隣センターの役割を自治会が理解していない人が多い。私は塚崎区長として所長に相談に行っている。ここにいらっしゃる皆さんの中でもあまり行っていない方、知らない方がいらっしゃって、宣伝もできていないと思う。

ふるさと協議会役員

- ・所長はこの建物の管理者であって、ふるさと協議会も場所を借りている。それでコネクションがあるくらいに思っている人が多いので、もっと所長の役割を周知したほうがよと思う。

ふるさと協議会役員

- ・これからは所長も一緒にやっていくという位置付けでよいか。(笑)

柏市職員

- ・初めからそういう位置付けのままだと思っており、既に3年間経っていると認識している。

ふるさと協議会役員

- ・例えば、私は防犯防災部長として、4月に篠原所長がお出でになった時に「大災害が起きたらここは地区対策本部ですよ、あなたは地区対策本部長ですよ。」と申し上げて、お互いに認識して動き始めたが、色々な面でふるさと協議会との連携が出来ていない。簡単な例で言えば、コピー室だって各自治会が紙さえ持ってくれば利用できるが、それを知らない方も多いと思う。

ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会の名前でごみゼロ運動の印刷物が町会に降りてきたことがある。それをふるさと協議会は知らないのは問題だと思う。
- ・ふるさと協議会の環境部が作った訳ではなく、市がつくったものをふるさと協議会の名前で勝手に町会に降ろしている。

ふるさと協議会役員

- ・新しい組織が出来上がるタイミングが5～6月だから、まだ動き始めていない時にごみゼロ運動が始まるからなのではないか。

ふるさと協議会役員

- ・なぜふるさと協議会の名前を出す必要があるのか。肝心のふるさと協議会も環境部もその文章を知らないで、ふるさと協議会の名前を使って一方的に降りてきているという感じがすごくする。

柏市職員

- ・いずれにしても、丁寧な説明が行政から出来ておらず、ご理解もいただいて進めているわけではないということだと思う。

ふるさと協議会役員

- ・長くこの地域で消防団やPTAなどのボランティアをやってきたが、全部がバラバラで繋がりが無い。ふるさと協議会も同様で、要らないという発言もあつが、無くなってしまうと全部が自己責任になってしまうとも思う。
- ・参考になるか分からないが、長野県の南アルプス市では「地域パス」というものがある。地域でボランティア活動をする担い手の人たちにパスを発行して、市内の商店街やガソリンスタンドで買い物をしたら数パーセント割引になるというもので、消防団で視察に行った際に、すごくいい活動だと思った。自治会を知らない方でも、パスの表示を見ると「なんであの人割引になっているんだろう」と思い、「あの人はこういう活動をしているんですよ」と活動自体も認知される。
- ・個人に報酬を出す予算が取れるのであれば、もっと大きな枠組みで市として地元をバックアップできるようなことに使ったらよいと思う。

柏市職員

- ・勉強させていただく。活動のポイント制というのは聞くが、もっと画期的なものだと思う。
- ・先ほどPTAと消防団の話があつたが、ふるさと協議会は各町会長・自治会長・区長の他に、PTAの役員、青少協、場合によっては消防団、学校の教頭など、その地域で活動している方々が一堂に

会する協議会、という位置づけの地域もある。

- ・その会に行くと、その地区で活動する総ての人の顔が見える、という協議会もある。活動そのものもそうだが、集まる場自体に価値があると認知されている地域もある。
- ・ふるさと協議会によってその特色は様々だが、これがふるさと協議会の活動の理想、というものを見つけることはなかなか難しいと思う。風早北部ふるさと協議会としてどんなものが1番この地域に合う活動であり、協議会なのか、我々も一緒になって所長とも共に考えていければと考えている。

ふるさと協議会役員

- ・ふるさと協議会というより塚崎区長としてだが、社協と我々行政とが、どうもうまくいっていない。今回、民生委員の推薦の締切があった。区長の仕事もしながら、担い手探しもすることにしっくりきてない。支えあいとか子どものこと、福祉のことだから細かいことは言わないでも思うが、現実には町会未加入の地域もあり、行政と一体化した仕組みになっていない。

ふるさと協議会役員

- ・町会長をやってまだ1年にならないが、町会長が如何に大変か分かかってきたところ。班長に負担をかけないように、何でも町会長に連絡するように言ってある。町会長がやることをまとめたが、町会長ってこんなに大変なのかと言われる。
- ・今回避難所運営マニュアルがないことが分かった。5～6ページのマニュアルは見せてもらったが、全然使えない。学校のものも見たが使えない。内閣府のガイドラインや各都道府県のを調べ上げて1か月かけて200ページのマニュアルをつくった。
- ・他の町会も私のマニュアルを使うことになった。それを如何に住民に知らせるか。町会に未加入の人、在宅している人に如何に対応するか。
- ・自宅で200枚印刷すると印刷代も時間もすごくかかる。先日1,600枚印刷したが、そうしたら「町会長なんてやれませんか」と言われてしまった。私は町会長は誰でも出来るように、負担を減らすために資料を作って、このまま引き継げばいいようにしようと思っていたが逆効果で、次にやってくれる方がいるのかと心配している。

	<p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それはちょっとやり過ぎましたね。(笑) <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・でも一生懸命やってあげたい。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が自治会長に就く前の自治会長の時は、自治会内の部が3つくらいしかなく、全部会長と副会長でやっていた。アドバイスをしている内に町会長をやってほしいと言われ、その時に総務部をはじめ、8つくらいの部をつくった。分担してやってもらうようにして、役員が入れ替わる時には各部で引き継ぎをしてやっている。今はどれだけうまくいっているかわからないが、つくるには手間をかけたが、そのような形で自治会を運営していた。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私もその考えで町会内の方々には活動をしてほしいが、現実には待っても誰も動かないので自分でやらざるを得ない。 <p>ふるさと協議会役員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の地域懇談会について、色々な意見を出し、聞いていただき有難いと思う。やっただけでなく、進捗状況の報告もしていただく機会を是非設けて欲しい。
<p>いただ いたご 意見の まとめ</p>	<p>(地域の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと協議会の認知度の問題やふるさと協議会自体、特にこの風早北部ふるさと協議会の認知度の問題について伺った。その中で活動拠点が仮事務所のような形のままでは活動がしにくい、また事務局のサポートについて市にもっと積極的に動いてほしいというお話を伺った。 ・近隣センターの役割は何なのかという話があり、直ぐに結論はでないがふるさと協議会役員の皆様や篠原所長と共に我々も進めていきたい。それがおそらく1番大きなテーマだったと思う。 ・自治会ができていない地域や加入していない集合住宅があるという件については、市も取組んでいる。具体的な場所を教えてください。加入促進をやっていきたい。 ・南アルプス市の事例については調べさせていただく。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・防災訓練について、積極的に取り組んでいるがなかなか活動が広がらず、市としてもバックアップしてほしいとの話を伺った。防災安全課とも相談してお答えができればと思う。・事務局員を有償化して市から何らかの補助ができるかという考え方については、現在検討段階なのでいつかお答えができればと思う。・社協とふるさと協議会の関係について、旧柏地域の中でも実は難しいところもあるですぐに解決することは難しいが、我々も問題意識を持っている。なんとか良い関係をつくっていきたい。・今回たくさんの意見を頂戴したが言いつ放しにはしないで欲しいとの意見を頂戴した。こちらの方で受け止めて、お返しできるものはお返しするという形でやっていきたい。 |
|--|